

議会だより



表紙:山野 正憲
佐江子
さつき(ボニー)
〔上野〕

Contents

● がんばる美浜びと インタビュー	2
● 議長 新年の挨拶／中学生議会	3
● 令和7年度12月補正予算	4
● 常任委員会の動き	5
● 所管事務調査	6
● 12月定例会議案一覧／議案賛否	7
● 議員報酬など議会改革特別委員会	8
● 討論概要／現地視察	9
● 議会と語ろう会	10～11
● 写真で見る議会の動き	12
● 一般質問	13～19
● 20歳のつどい／お知らせ／編集後記	20

がんばる美浜びと



暮らすことが一番!!

自然体で楽しく

議会の課題

- ・移住・定住の促進
- ・空き家対策

Q 自己紹介をお願いします。

A 敦賀市生まれ、京都に20年住んだ後、地元に戻る。ポニーを飼いたくて空き家を探し、美浜で出会う。2012年に引っ越しをして、現在13年経ちました。家族構成は、私と妻、馬（ボニー）1頭と猫3匹、鶏1羽です。職業はグラフィックデザインとラジオのDJをやっています。また、近くの空き家利活用の家「みんなの茶ノ間八三六」でジョン・カフェを毎週木曜日のみ営業しています。

Q 美浜で住むことになり、ご苦労話があれば。

A 区民の方達に歓迎していただき苦労というものを感じたことは、一度もありません。ずっと楽しく暮らしています。

Q 現在もNPO法人ふるさと福井サポートセンターに所属され、活動されていると思いますが、そのご感想は。(移住者を増やす方法は)

A 住んでいる人達が楽しく暮らしていく事がとても大切だと思います。美浜に住みたいと思っていただけるように、今いる人達の幸せをまず考えるべきです。

Q 今後美浜町に望むことは。

A 経済第一ばかりを主張して、心のありかたをおなごりにする政策をもうそろそろやめるべきだと思います。人はお金がすべてではない。豊かさとは自然や人や動物すべて関わって生きているので、それをいちばん大事にして欲しいです。





安全・安心をかたちにする
まちづくり

美浜町議会をめざして

美浜町議会議長
川畠忠之

明けましておめでとうございま
す。町民の皆さまにおかれまして
は、ご家族おそろいで健やかに新年
をお迎えになられましたことを、心
よりお祝い申し上げます。平素は、
美浜町議会の活動に対し、深いご
理解と温かいご支援を賜り、厚く
お礼申し上げます。

現在、美浜町におきましては、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、防災・減災、エネルギー政策など、直面する課題は山積しております。

議会では防災面において、喫緊の課題として、原子力災害や地震災害などのリスクに備え、孤立集落や避難困難区域を生じさせないため、美浜町と高島市を結ぶ「美浜・高島広域避難・連携道路」の整備実現に向け、鋭意取り組んでおります。

災害時ににおける避難道路としての役割を十分に果たせるよう、無電柱化の整備実現に向け、併せて取り組んでおります。

頻発する災害に備えるためにも、信頼性の高い強靭な幹線道路ネットワークの構築は、ますます重要な要素となっています。

の復舊に期待するとともに、平常時・災害時を問わず、安全で円滑な人流・物流を支え、地域活性化や生産性向上、ひいては地方創生の実現にも資するものと考えております。

「命の道」という存在のありがたみを、身をもつて経験するような事態が起こらないことを切に願いつつ、美浜・高島広域避難・連携道路の整備実現による幹線道路ネットワークの構築に向け、行政と議会が両輪となって、安全・安心をかたちにする取組を、今後も強力に推進してまいります。

結びに、本年が町民の皆さまお一人おひとりにとりまして、健康で実り多い一年となりますこと、そして、ふるさと美浜が笑顔とぬくもりに満ちた町として、ますます発展していきますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

いざという時に命を守る広域的な避難ルートとしての「命の道」の役割に期待するとともに、平常時・災害時を問わず、安全で円滑な人流・物流を支え、地域活性化や生産性向上、ひいては地方創生の実現にも資するものと考えておられます。

が整備されれば、南海トラフ地震発
災時に、高島市側から国道27号へ
接続し、敦賀市や若狭町方面に抜
ける新たな避難ルートが加わること
となり、広域避難道路の多重化が一
層進むことが期待されます。

中學生議會



11月7日16時30分から町役場議場において、17日に美浜中学校体育館で開かれる生徒総会を前に、議場を活用して生徒総会のリハーサルを行うために生徒会長や、保健美化委員長等10人が議場を訪れました。

生徒の皆さんは、「やーい、きれい」などと声を出しながら議場に入り、緊張した面持ちで、町長や各課長、議長席に座りました。

生徒総会で議長を務める生徒は、議長席で起立して挨拶を述べ、その後、出欠確認が行われました。

本番の生徒総会では、生徒からの各委員会の活動への質問が出ることを想定しており、理事者側に座った生徒会長や各委員会の人達は、生徒役の教員の質問に堂々と答えていました。

議員は傍聴席でリハーサルを見守り、川畠議長は「仲間と意見を交わしながら、学校をより良くしようとす
る姿勢は、まちづくりにも
通じる大切な力。議場に
立った経験は、必ず大きな
財産になる」と生徒を前に
講評しました。

町民1人あたり

物価高の影響を受ける全町民に
町内加盟店で利用できる商品券
(令和7年12月1日に町内に住所を有する方対象)

全世帯

デジタル

デジタルか
紙を選択

紙

※デジタル商品券か紙商品券を希望する場合の
意向確認書を町より送付

物価高騰対策事業 2億794万円

2万円分給付

こども1人あたり一律

・0歳から高校3年生までのすべてのこども達に支給
※対象児童には令和7年10月1日以降、令和8年3月31日までに生まれる新生児も含む

2万円給付

物価高対応子育て応援手当支給事業 2588万1千円

12月補正一般会計予算

7億4758万8千円

(補正後119億8555万9千円)

町民目線で見た 12月補正予算の使われ方



・美浜ふるさと納税推進事業
ふるさと納税一括代行サービス業務委託料他

1955万7千円

・エネルギー環境教育体験館整備事業
実施設計業務委託料他

393万8千円

・すみずみ子育てサポート事業
業務委託料

899万6千円

・子どものあそび場づくり事業
遊び場運営業務委託料他

156万8千円

・県営道路改良事業負担金	505万円
・町道川東42号線道路改良事業	1509万円
・県営河川局部改良事業負担金	350万円
・松くい虫被害対策事業業務委託料	69万7千円
・水産振興施設整備事業負担金	97万4千円
・農業委員報酬	317万4千円
・丹生介護予防センター エアコン取替工事費	107万6千円
・ローイングの町美浜推進事業 業務用無線購入費	306万9千円
・社会体育施設管理事業 総合運動公園施設管理業務委託料	363万3千円



町道川東42号線



子どものあそび場整備事業基金
積立金 1億700万円

住宅団地整備事業特別会計繰出
繰出金 1億6715万4千円

障害児福祉サービス給付事業
障害児通所事業負担金 1087万円

公共施設維持補修基金積立金
積立金 6144万7千円

常任委員会の動き

変更にいたったのか。

回答

業者からの提案を基に、
更に持続性のある施設、
集客を見込める施設という観点
で保護者の意見も踏まえて、町
として協議した結果、今回の変
更となった。金額の不足分は、
令和8年度の当初予算での計上
を考えている。

12月定例会では、予算決算常任委員会には議案6件、総務文教常任委員会に議案2件の計8議案が各委員会に付託され、それぞれの委員会で詳細を審査し、委員会採択を行いました。なお、今回は産業厚生常任委員会への付託議案はありませんでした。委員会での主な質疑と答弁を記載しました。詳細内容は、ホームページでご覧になれます。

<http://www.town.fukui-mihamama.lg.jp/site/town-council/>
QRコードから「」見になれます。



予算決算常任委員会

付託議案6件

議案第70号

令和7年度美浜町一般会計 補正予算（第3号）

（総務費）



問

美浜ふるさと納税推進事業
1,955万7千円で

あるが、年末～来年3月の年度
末にかけての追い込み時期の費
用だと思うが、今年度の納税額
見込みはどの程度か。

回答

この補正予算は、今年度
納税額を3億6000
万円とみて計上してい

（民生費）

いじりものあそび場つくり
整備事業1,22万6千
円であるが、来年度以降を含め
見込みはどの程度か。

問

議会と語る「」会におい
て、夏に総合体育館2階
（教育費）

（土木費）

町道川東42号線道路改良
事業1,509万円であ
るが、場所はどこになるのか。
美浜中学校の北側にある
小倉住宅から給食セン
ターまでを結ぶ140mの町
道である。

回答

この変更
は誰から
の提案で
ざんな経緯で
いたた
たのか。



総務文教常任委員会

付託議案2件

議案第76号

美浜町一般職の職員の 旅費に関する条例の全部 を改正する条例の 制定について

（国家公務員等の旅費に関する
法律の施行による条例改正）

「国家公務員等の旅費支
給規程」にある「職務の
範囲」になるのか。

級が10級以下の者」とは、町で
はどの範囲になるのか。

本庁の課長以下一般職の
職員全員が該当する。

旅行は旅行命令権者が発
する」とあるが、具体的に
は誰か。

参事級以下の職員は総務
課長決裁、課長級などの
管理職は副町長決裁になる。

議案第77号

美浜町原子力発電施設等
立地地域指定による固定
資産税の不均一課税に
する条例の制定について

ジムのエアコンが故障して、長
期間使用できなかつたという苦
情があつた。今はどうなつてい
るのか。

回答 現在修理を発注している
が、部品の調達ができる
ず、まだ修理できていない。部
品が入りしだい修理する。

（原子力発電施設等立地地域の
振興に関する特別措置法に定
める省令改正に伴つ条例改正）

関する条例の一部を改正
する条例の制定について

対象業種の企業が工場等
を増設し、雇用人数等の
条件を満たした場合、固定資產
税が3年間不均一で軽減され
る。これまで7事業所が適用を
受けている。

当条例の内容を、少し具
体的に説明願いたい。

回答 対象業種の企業が工場等
を増設し、雇用人数等の
条件を満たした場合、固定資產
税が3年間不均一で軽減され
る。これまで7事業所が適用を
受けている。

回答 対象となるが、附属設備も
建物及びその附属設備も
の範囲は。

回答 対象となるが、附属設備
等が該当する。

建物に付属する設備、例
えば空調設備や電気設備



令和7年 第5回 美浜町議会定例会 議案

令和7年第5回美浜町議会定例会期間：令和7年11月28日～12月18日

議案番号	件名	委員会付託	議決結果
議案第70号	令和7年度美浜町一般会計補正予算（第3号） 4億4568万6千円増額し、歳入歳出予算総額を116億8365万7千円とする。	予算決算	可決
議案第71号	令和7年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 706万1千円増額し、歳入歳出予算総額を11億4096万4千円とする。		可決
議案第72号	令和7年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） 1730万3千円増額し、歳入歳出予算総額を1億8789万7千円とする。		可決
議案第73号	令和7年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 2559万2千円増額し、歳入歳出予算総額を11億9761万6千円とする。		可決
議案第74号	令和7年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第2号） 1億6715万4千円増額し、歳入歳出予算総額を2億518万4千円とする。		可決
議案第75号	令和7年度美浜町上水道事業会計補正予算（第2号） 5095万7千円増額し、予算総額を9億1674万7千円とする。		可決
議案第76号	美浜町一般職の職員の旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定について 国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴う関係条例全部の改正。	総務文教	可決
議案第77号	美浜町原子力発電施設等立地地域指定による固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について 原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法第10条の地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴う適用期限延長に係る関係規定の改正。		可決
議案第78号	美浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う議員の関係規定の改正及び議員報酬の引き上げに係る関係規定の改正。	議員報酬など議会改革	可決
議案第79号	美浜町議会政務活動費の交付に関する条例の制定について 議員活動の充実に向けて美浜町議会議員に交付する政務活動費に係る条例の制定。		可決
議案第80号	令和7年度美浜町一般会計補正予算（第4号） 3億190万2千円増額し、歳入歳出予算総額を119億8555万9千円とする。	—	可決
議案第81号	令和7年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第2号） 42万9千円増額し、歳入歳出予算総額を1億2345万7千円とする。	—	可決
議案第82号	令和7年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 61万円増額し、歳入歳出予算総額を11億9822万6千円とする。	—	可決
議案第83号	令和7年度美浜町下水道事業会計補正予算（第2号） 356万円増額し、予算総額を13億6340万3千円とする。	—	可決
議案第84号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえた関係規定の改正。	—	可決
議案第85号	美浜町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえた美浜町特別職の期末手当の支給割合に関する関係規定の改正。	—	可決
議案第86号	美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえた関係規定の改正。	—	可決
議案第87号	美浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告等を踏まえた美浜町議会議員の期末手当の支給割合に関する関係規定の改正。	—	可決
議案第88号	財産の取得について 美浜町役場業務用ノートパソコンの更新（68台）。	—	可決
発議第2号	地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書 国に対する「地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書」の提出。	—	可決

※略称 <予算決算>…予算決算常任委員会 <総務文教>…総務文教常任委員会 <議員報酬など議会改革>…議員報酬など議会改革特別委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成・×反対・一欠席・□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。

※議長（川畠忠之）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	松下	崎元	山口	藤本	竹仲
議案第70号	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○
議案第78号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会

議員報酬の引き上げ(物価高騰対策)と 政務活動費の条例を承認

(1) 議案第78号

美浜町特別職の職員で非常勤のものの 報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

これは、国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、旅費の支給規定及び名称が改正されたこと及び特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、議員報酬額を引き上げるにあたり、所要の改正をする必要が生じたことから、本条例の一部を改正するというものです。

特別職報酬等審議会の答申に係る改正は、議員の月額報酬を現行の23万5000円から27万4000円に引き上げるもので

ます。また、議会議員の職名欄に「常任委員長」、「議会運営委員長」を追加し、一般議員と比較して9000円の割り増しとなっています。

さらに、期末手当を常勤特別職と同様の支給割合へ改正するとなっています。

施行期日は、旅費法改正に伴う改正が令和8年4月1日、特別職報酬等審議会の答申に係る改正が令和8年3月15日です。

(2) 議案第79号

美浜町議会政務活動費の交付に関する条例の制定について

これは、議員活動の充実に向けて、調査研究や政策立案に必要な経費を交付し、議員活動の透明性確保と議会の活性化を図るため、本条例を制定するというものです。

主な内容は、地方自治法の規定に基づき、美浜町議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付することに関し必要な事項を定めるものです。

政務活動費の交付額及び交付の方

法を規定し、各月1日（基準日）に在職する議員に対し、月額3万円を期ごと（前期、後期）に交付する。

前期は4月1日から9月30日、後期は10月1日から翌年の3月31日。前期、後期の最初の月に当該期に属する月数分を交付する。

ただし、期の途中で任期が満了する場合は、任期満了日の属する月までとするなどの規定があります。

また、充てることができる経費の範囲として、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、

各種会議への参加等政務活動に要する経費に対して交付するという規定。

収支報告書の提出として、交付を受けた議員は、規則で定める様式により、領収書等を添付して収入及び支出の報告書を作成し、翌年度の4月30日までに提出しなければならないという規定。

返還として、交付を受けた議員は、その年度において交付を受けた総額から支出した総額を控除して残余がある場合は、その額を返還しなければならないなどの規定があります。

また、町長は、交付を受けた議員が、この条例に違反した場合は、全部又は一部の返還を命ずることができるということが規定されています。

施行期日は令和8年4月1日です。



討論概要

【12月定例会】

1.【反対討論】議案第70号

令和7年度美浜町一般会計補正予算

（第3号）

エネルギー環境教育体験館の整備事業に、「大阪・関西万博展示物移設運搬費」と「実施設計業務委託料」、合わせて393万8千円が計上されています。

これは、大阪万博で使用されていた

E/Vバスの停留所の一部を、美浜のエネルギー環境教育体験館「きじぱす」に移設・展示する」と、「半世紀前に送った歴史とともに、大阪・関西万博のレガシーを未来に継承していくた

い。」というものですが、町民の誰がこんな無駄遣いを望んでいるのでしょうか？

今回の予算計上は、展示物の運搬と実施設計業務の委託料の393万8千円にどまりますが、今後発生する工事費などを考えるとこんな無駄な事業はありません。

一方で、住民サービスの方は、総合体育館の空調や照明が一向に直らないとか、漁協などの施設の老朽化が進み危険というような課題が山積しています。大阪万博で使用されたバス停の移設なんて、多くの町民からすれば何にお金使つてんだよ！って話ですよ。

こういう無駄な事業こそやめて、住民サービスや人材の確保・定着にもつ

と予算を使うべきです。

公共サービスの安全・安定・安心、質の向上を考えるなら、公共サービスを提供する側の働く環境をより良くして、提供されるサービスで住民が生き生きと生活する。そういう環境を整えるのが町民ファーストの考え方です。

多くの町民が望んでいない、こういいう住民サービスに繋がらない無駄な事業はやめるべきだと、私は考えていましたので、本議案を認めるることはできません。

（河本議員）

問を持ちます。また、引き上げの額についても根拠が分かりません。長い時間かけて議論してきた、特別委員会の内容が組み込まれていないように思いました。

（上道議員）

3.【賛成討論】議案第78号

美浜町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内の議員報酬に関する項目において、引き上げの根拠として町民の理解がアンケートより得られたと解釈されたからだと考えます。しかし、私には不可解な点が多数あるように思います。町民に発送されたアンケートは、統計学的には有効回答であったと思いません。議員報酬等に関する質問に「議員報酬等の額を知っているか」という項目があります。知っていると回答した人が111人。これに対し、「現行の美浜議会の議員報酬等の額についてどう思いますか」という項目に113人が多い、適当が160人と答えています。額を知らないのにどうして答えられるのか、分かりません。その他多大なアンケートの集計に疑成します。

現地視察



12月10日午前10時より、(株)椿本エイン「福井美浜工場」(山上地区)を視察しました。大阪市に本社を置き、1917年創業という老舗の会社です。売上高は2791億円、従業員数8768人の大きな企業です。25年8月1日に当町で人工型植物工場の操業を開始しています。

元々の事業内容は、「各種動力伝導および同付属品の製造販売」が中心で、会社の基本スタンスは「社会から必要とされ続ける企業を目指す」としています。「福井美浜工場」は、チエイン事業を活用したアグリビジネスへの挑戦です。水耕栽培で、播種から育成管理、販売までを貫して行っています。

美浜町に限らず日本は、激変する環境の中で、社会は安定した食料生産を求めており、その必要性に応える事業でもあります。「身土不二」(しんじふじ)という言葉があります。「その地の土が人間の体を育てる」という教えです。露地物野菜と競合する事業と相互補完する事業ですが、当町の振興に寄与していただけることを期待しています。

5.【賛成討論】議案第79号

美浜町議会政務活動費の交付に関する条例の制定について

報酬の引き上げは物価高騰対策にとどまりますが、政務活動費の制定とセットとして考えると、これにより志し高く立候補を考える町民が増えれば、なり手不足対策を検討してきた議会の目的とも合致するので本議案に賛成します。

（河本議員）

議会と語ろう会

今年度第2回目の「議会と語ろう会」は、町内の各種団体等を対象に2班編成で意見交換しました。参加団体からはそれぞれの立場の垣根を超えてご意見をいただきました。これは、2班ともにいえることです。各専門分野からの意見や要望は、斬新な発想や考え、また、議会に伝わっていない事があることも分かり、今後の課題も含め大変勉強になりました。

●産業厚生常任委員会班

11月21日 午後7時から

対象団体：美浜町スポーツ協会・美浜町文化協会・美浜町農業担い手協議会

会場：役場正庁

●総務文教常任委員会班

11月21日 午後2時から

対象団体：わかさ東商工会美浜支部、(一社)若狭美浜観光協会

会場：わかさ東商工会館3階

12月4日 午後7時から

対象団体：美浜町漁業協同組合、会場：役場議会会議室

産業厚生常任委員会班

1 主な意見の要旨

(1) 議会と住民・団体との関係について

・農業担い手協議会から、「要望を聞く場」にとどまらず、議会

側からも農業・まちづくりの課題認識や方向性を示したうえ

で、住民と一緒に議論を深める場にしてほしい、との意見。

・また、議員が日常的に現場へ足を運び、各団体・地域の実情を把握してほしいとの要望もあつた。

(2) 農業の担い手・経営環境について

・新規就農支援はあるが、「支援終了後の販路・収益の『出口』」が弱く、経営が続けられるか不安との声があった。

・農産物の販売先や、道の駅などの活用を含め、「どこで売り、どう収入につなげるか」という視点での施策強化を求める意見。

・里山保全や空き家活用、子育て移住と組み合わせた暮らしのモデルづくりなど、農業を軸にした地域維持のアイデアも出された。

・美浜町は「出口(人やお金の流れ)」が弱いという指摘があり、道の駅整備にあたっては、当初構想と実際の運用にギャップが生じたとの意見があつた。

・大型事業では、計画段階から情報共有と、進行過程でのチェック・軌道修正を、議会がしっかりと果たしてほしいと

の声。

・一方で、議会側からは、分野別に財政状況を見える化する資料を作成していることを説明

し、住民にとってさらに分かりやすい工夫が必要との認識を共有した。

(4) 文化協会・スポーツ協会からの意見

・文化協会からは、会員の高齢化や物価高の中での現行補助では

・文化・スポーツの活動を「健康づくり・観光・地域活性化」として捉え、投資としての位置づけを明確にしてほしいとの提案もあつた。

(5) 里山・サル被害・空き家等

・捕獲等の取組によりサル被害は一時期より落ち込んでいるものの、里山管理や人の住み方を含めた「長期的な地域のあり方」を考える必要があるとの指摘。

・空き家が増える中で、移住・就農・子育てと組み合わせた活用策を検討してほしいとの意見。

・負担感が大きいこと、数年内に予定される県レベルの大規模事業に向けて、十分な支援を検討してほしいとの要望。



2 議会としての今後の検討課題

- ・ 農業分野では、支援後の「出口」整備や、里山・空き家と一体の地域維持策について議論を深める。
- ・ 大型事業について、当初構想と運用のズレが生じないよう、早期の情報共有とチェック機能を強化する。
- ・ 文化・スポーツを「まちの魅力」発信・健康づくりへの投資」と位置づけ、補助や施設整備の優先順位を総合的に検討する。

- ・ 意見交換会については、開催時期・テーマ設定・案内方法を見直し、「要望聴取」から「双方向で政策を練り上げる場」へ質の向上を図る。

ある。議会の認識はどうつか。民衆は激減し、この先5～10年で更に2分の1～3分の1に減ると思われ心配である。

議会も人口減少は喫緊の課題と考え対策の重要性を指摘してきた。施策の執行権限は首長にあり、議会の権限はその監視になるが、先進自治体や集落の視察等により、更に有効な施策を提案するべく取り組んでいく。

議会の政策提案について

意見 各課の施策が縦割りで、横の連携が足りないと思う。議会はこれら施策に横串をさし有効な提案ができないか。

回答 議会はどう対処しているのか。議会にはそうした要望は開示されない。集落の要望も同様であり、必要な要望は議会にも提示いただきたい。

町行政に対し、協会から各種の要望をしているが、

意見 会館は築50年が経過し老朽化が目立つ。建替えを検討するので協力願いたい。

商工会館の建替えについて

意見 3階建てだがエレベーターもない。また道の駅屋上からの眺望の妨げにもなっており、むしろ要望はよく理解する。

美浜町漁業協同組合

意見 観光業は一次産業（農業・漁業）に支えられているが、後継者不足で将来が不安で



議会が把握できる情報は、議案書レベルに限られ、その背景や過程は十分把握できていない。また、議案書の段階では、県や国の補助金が約束されていることが多い。そうした理由で議会が各種施策に横串をさすのは困難である。



行政に対し、当要望をしっかりと伝え実現に努力する。

意見 海水温の上昇やガセの異常繁殖が原因と思われる藻場の減少が酷く、ワカメ・サザエ・ウニ等が激減している。専門的な機関に「高水温に強い藻の開発」や「効果的なガセ退治方法の開発」等の研究を依頼すべきだと思つ。

藻場の再生について

意見 例えば陸上養殖等、先進地の情報を提供願いたい。調査等を通じて漁業先進地の情報収集に努める。

久々子湖の湖水汚濁について

意見 湖水が黄色くて匂い、船の客から汚い湖と言われる。シジミ等も思わしくなく、調査と対策が急務だと思う。

回答 この問題は議会で共有されつつあり、しっかりとフォローしていく。



わかさ東商工業・若狭美浜観光協会

総務文教常任委員会班

意見 両会長をはじめ10名のど出席のもと意見交換しました。

地場産業の後継者について

意見 観光業は一次産業（農業・漁業）に支えられているが、後継者不足で将来が不安で

美浜町漁業協同組合

意見 美浜町漁業協同組合、傘下の漁家組合・定置網組合の各組合長をはじめ8名のど出席のもと意見交換しました。

意見 日向の定置網は、美浜町の柱になつてゐるが、従事者が減り大きな不安がある。後継者の募集・育成事業への支援をお願いしたい。

漁業後継者の募集・育成の件

意見 現場を拝見したが、天井が剥がれ落ちるなど早期の建替えが必要と思う。いろんなお力添えをしていきたい。

回答 ローしていく。

久々子湖の湖水汚濁について

意見 湖水が黄色くて匂い、船の客から汚い湖と言われる。シジミ等も思わしくなく、調査と対策が急務だと思う。

回答 この問題は議会で共有されつつあり、しっかりとフォローしていく。

写真で見る議会の動き

令和7年10月19日
町民レガッタ



交流議会議員の部、県外から石川県津幡町、滋賀県大津市、嶺南から敦賀市、若狭町、おおい町、美浜町そして県議会の7議会がローライングを通して理解と地域振興への親睦を深めました。

令和7年10月24日～25日
原子力総合防災訓練



今年度の福井県原子力総合防災訓練が実施され、大地震による美浜発電所の全面緊急事態を想定した、おおい町への避難訓練も行われました。

令和7年11月10日
敦賀・美浜地域開発協議会



「敦賀市原区の地域づくりの現状と今後の展望」について、原区の区長・役員の方から、地域活性化の歩みと建築中のふるさと茶屋おお原の里のコンセプト等の説明を受けました。

令和7年10月24日
市町議会議員合同研修会



市町議会議員合同研修が行われ「地方創生のこれから—豊かな地域と住民自治を求めて」及び「どこへ行く日本の政治」と題して二人のジャーナリストからレクチャーを受けました

令和7年10月28日
美浜町・若狭町議会振興協議会



若狭町みさき漁業体験施設「みさきち」を視察しました。この施設は廃校となった旧岬小学校を活用しており、福井工大と連携を図り指定管理で運営しています。

令和8年1月11日
敦賀美方消防組合出初式一斉放水



令和8年度の美浜消防団出初式が挙行されました。耳川の川岸で今年の無火災を願い一斉放水が行われました。その後、はあとぴあホールにおいて、観閲式が行われました。

町政を問う！一般質問

う。
どのような課題があるのか伺
う。

質問、返答については質問者の文責で掲載しています。



中牟田 春子 議員

①男女共同参画社会の実現について



平成30年3月策定の

「第3次美浜町男女共同参画推進計画」は、令和4

年度をもって、計画期間が終了するため、これまでの成果や課題、社会情勢の変化を踏まえ、より効果的な政策を進め、男女共同参画社会の形成に向けた新たな計画を策定するものとして、令和5年3月に「第4次美浜町男女共同参画推進計画」が策定されました。町は、長年にわたり男女共同参画の取り組みを推進してきましたが、町民にとってどのような成果があり、また



第4次美浜町男女共同参画推進計画

町長

平成11年に「男女共同参画社会基本法」が国で制定され、男女共同参画はわが国の重要な課題に位置づけられました。すべての人が、性別にかかわりなく人権を尊重し、かつ責任を分かち合い、その個性と能力が十分に發揮できる「男女共同参画のまち美浜町」の実現を目指す上で、取り組みの指針となるのが「美浜町男女共同参画推進計画」です。本計画に基づき、町民の皆さんのご理解ご協力をいただきながら、これまで様々な取組みを進めています。

一方、集落における女性役員の登用等がやや低い状況や、家族の介護や育児の負担が、女性に偏りがちな現状といった課題は依然として残っています。町は、長年にわたり男女共同参画の取り組みを推進してきましたが、町民にとってどのような成果があり、また

まちづくり
推進課長

長年にわたる男女共同参画の取り組みの成果として、国や自治体等において議員や審議会、委員会など意思決定のプロセスへ

の女性の関与が増えたことにより、女性の視点を踏まえた政策や、女性が社会で活躍するための支援の充実が成果として挙げられます。また、令和3年度に実施した「第4次美浜町男女共同参画推進計画」策定の際のアンケート調査では、半数以上のかたが家庭や学校現場、職場において「20年前と比べ男女共同参画が進んでいる」と回答しています。

一方、集落における女性役員の登用等がやや低い状況や、家族の介護や育児の負担が、女性に偏りがちな現状といった課題は依然として残っています。町は、長年にわたり男女共同参画の取り組みを推進してきましたが、町民にとってどのような成果があり、また

まちづくり
推進課長

「第4次美浜町男女共同参画推進計画」では、男女が互いを思い、協力し合い、性別に関わりなく、個性を活かし能力を発揮することができる「男女共同参画のまち美浜町」を目指すとし、3つの基本目標また9つの重点課題は、どのように取り組んでいるのか伺う。

そこで「第4次美浜町男女共同参画推進計画」に基づき、美浜町人権尊重啓発協議会との連携の下に、性別に関する意識啓発を集落単位で進めておられます。令和4年度は3集落、令和6年度は10集落において「多様性」や「男女平等」を内容とする研修会が行われています。



本町の男女共同参画における主な課題として次の3点、性別による固定的役割分担意識が、慣習やしきたり等に影響を与えていること。

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

12月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただしました。

の工場、三方五湖の電池推進
も力を入れている。産業団地
町長
加え再生可能エネル
ギーの積極的活用に
関する所見と、
現在新庄地区で取り組まれて
いる調査事業はどのように進
んでいるのか伺う。

関西電力のリップ
レースに係るボーリン
グ調査が始まり、議会も現地
視察を行った。今回は、原子
の力ではなく、自然の力を利
用した再生可能エネルギーの
「風力発電」に関する所見と、



イメージ

今から15年後204
0年の人口ビジョンの
数字は7900人という数字
である。この数字を作りだす
には、若者の転入・定住・転出
抑制、住みやすい住宅環境や
働く場所が必要である。町は、
住宅・産業団地の整備を行って
おり、今後の区づくりには、必

②町の人口ビジョン
目標を達成するために
答
新しい住宅団地整備や
企業誘致でも人口ビ
ジョンに貢献したい

環境影響評価の全4
段階の内、3段階目と
なる「準備書」の策定
を進めている。令和5年には、
新庄地区の総会において「事
業同意」が決議されている。
事業者とのコンセンサスは十
分に図られるよう行政として
もしっかりと求めて行く。

エネルギー
政策課長

美し野区は集会場整備につ
いての協議や、アンケートの結
果、建設費や維持管理費等も
伴うことから公共施設の利用
も可能なでの今のところは
不要との判断にいたつていて。
産業団地は平成28年
4月に分譲を開始し、
この9月には6社目と
なる田中紙管が敦賀から進出
予定で協定を締結した。あと
1区画残るが、現在進出に強
い関心を示している企業があ
り、協議を進めている。

まちづくり
推進課長
答
施設「黄舎」を借用し
て集会場としている。「黄舎」
の使用目的には反するもので
はないので認めている。



問
産業
政策課長
答
が空いているが誘致計
画はあるのか。

将来の町づくりビジョンに関する 「自然環境・人口維持」



辻井 雅之 議員

12月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いただしました。

おり、東地区の美し野区や若狭美浜インター産業団地の取組みは、人口ビジョンに対する効果が見られ、まちづくりに貢献していると考える。しかし、この区には交流の拠点となる集会場がなく、近くの「黄舎」を借用していると聞く。不便な面も想像すると、余計な紹介かもしれないが集会場建設が急務であると考える。設に後押ししていただきたい。

補助金も考案して、是非、建

設に後押ししていただきたい。



こう もと たけし
河本 猛 議員

①訪問介護 高齢者は

訪問介護 高齢者は
増え、担い手は減る。
支援体制の強化は
急務！

答 ひきこみき介護人材の確保、高齢者の生活支援強化などを進める。

こうした状況がもたらす影響は、必要なケアプランが細めないといつ現実であり、「希望するサービスが確保できない」と悩むケアマネジャーが増えているといいます。

要介護認定者は毎々
また

訪問介護事業所を取り巻く課題は、「給与が上がりないから辞める」とか「仕事がキツいから続けられない」などの報酬だけではなく、現場で感じるのはそもそも

卷二

特に生活援助（掃除・洗濯・買い物など）は報酬が低いため、最初から対応しない事業所も多くあり、全国の例ですが、大手であっても断られるケースが増えているといいです。ケアマネジャー

高齢者は増え、担い手は減る。需要は右肩上がり、供給は右肩下がりの状況です。美浜町のような小規模自治体では、事業所数が少なく、一つの事業者が廃止や閉鎖に追い込まれれば、他に対応できることころが無く、高齢者の福祉サービスの低下に直結するところから、ついに自治体が重

トによると介護事業所の職員の充足率は86%となっており、特に介護福祉士の充足率が60%程度と厳しく、人材不足が深刻な状況となつています。こうした状況を踏まえまして、町では令和4年度に介護事業所の介護人材確保に向けた支援制度を創設



健康福祉
課長

点的に支援する政策的課題があると考えています。現場の負担軽減と人材定着に向けた支援体制の強化が急務であると考えますが、美浜町は、今後、どのような施策展望を持つているのか考えを伺います。

し、これまで、町内事業所に就労した10名の方に就労祝金を、また、その後3年間就労を継続した2名の方に就労継続祝金を給付するなど、一室の成果があつたと考えています。

意見 掲の中に、福祉サービ



更には、地域ボランティアや民生委員、福祉委員、美近町社会福祉協議会などの各種団体との連携により、高齢者の生活支援体制を強化するなど、必要なサービスが町全体に広く行き届くよう進めてまいります。

見	開会初日の町長の挨拶
社サービス事業も同じ状況であることから、本年度から障害福祉サービス事業所へ対象を拡大したところであります。	社サービス事業も同じ状況であることから、本年度から障害福祉サービス事業所へ対象を拡大したところであります。
引き続き、介護人材確保に向け、事業者と共に地元の専門学校との連携やイベント等を通じた介護職への就職促進に取り組んでまいります。	引き続き、介護人材確保に向け、事業者と共に地元の専門学校との連携やイベント等を通じた介護職への就職促進に取り組んでまいります。
あわせて、外国人介護人材の確保定着につきましても検討を進めているところです。	あわせて、外国人介護人材の確保定着につきましても検討を進めているところです。
更には、地域ボランティアや民生委員、福祉委員、美浜町社会福祉協議会などの各種団体との連携により、高齢者の生活支援体制を強化するな	更には、地域ボランティアや民生委員、福祉委員、美浜町社会福祉協議会などの各種団体との連携により、高齢者の生活支援体制を強化するな
スの充実について「美浜町が設整備に向けた検討や可能性の調査を進めています」ということがありました。	スの充実について「美浜町が設整備に向けた検討や可能性の調査を進めています」ということがありました。

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

12月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、聞いたしました。

「再生のエンジン」である。町の観光政策の方向性を明記した「美浜町観光振興計画」の改定に向け「観光開発審議会」や実務に従事する方の「若狭みはま観光地域づくり協議会」で議論し本年度内で改訂する。町を挙げて観光振興に全力で挑戦していく。

問 県の「WAKASA」リフレッシュエリアとして嶺南市町は複数の観光受け入れ環境整備の目標がなされているが美浜町は若狭町との「熊川・新庄トレイル」コースの周遊や連携の推進のみである。美浜町の観光ビジョンを伺う。

① 美浜町の 観光について

政からの支援策はどうのよつなものがあるのか。

問 観光誘客課長 今後考えているのか。

補助金を上げたり、補助率を上げることは、今年度で「創業支援事業」について補助率、補助金の上限を上げている。大規模創業支援についても小売業や飲食店の場合、上限を300万円から500万円に上げている。

問 町が今一番力を入れている「レイクセント」だが現状、実際の乗船

置と中長期的観点からの事業者育成支援に取り組んでいた。町内飲食事業者等の新たな参画を促すための支援事業や、「美浜町創業支援事業補助金」を拡充するとともに、飲食や物販にかかる比較的大きな新規創業を促す「美浜町

人数や乗船率、平均単価、
上利益等を伺う。

クで巡るサイクルシップにより運行を実施した。今後も魅
力あるイベントクルーズに取り組み、教育旅行や旅行会社
等への営業を強化していく。

黒字化への方策はあるのか。

令和9年度中の黒字化を目指し、収益性の高い特別体験型イベン
トクルーズ等で平均乗船単価の底上げを狙う。今年度配置
した営業専門員による営業展

乗船料の売り上げは約1850万円で目標の17%減となってい。国内旅行会社へのエージェント営業を開始したばかりで成果が出るのには来年春になる見込み。新たな取り組みとしては調整を進めていた若狭町海山への寄港

開にも期待している。

各地の観光地を視察すると大型バスの駐車場、カラースフルな電柱化は最低限の設備となっている。「国吉城」を抱える佐柿の今後の計画はどうか。（社）佐柿国吉100年プラン推進委員会で景観保全や地域間交流を行っており、今年9月「歴史的景観を活かしたまちづくり構想」短・中・長期プランの

分析ツール「おでかけウォッチャー」を活用し宿泊客のニーズを把握する仕組みを導入した。また、SNSの効果測定システムを導入し拡散状況をリアルタイムで把握し、施策の検証改善につなげる。

完成報告を受けた。カラーマ
スファルト舗装や木製ガーデ

等の補助制度がある。その他、歴史的価値の高い町屋数軒については文化財指定を受け保存活動を進めることが適当であると考え、保存に向け検討を進める。

的支援が欠かせない。それには財政的支援の方向性と施策を問う。保存の対応がどうあるべきか、佐柿は江戸から昭和時代の町家の歴史、変遷を見て、それがどうあるべきか、見ることが出来ると、成26年に福井県の「伝統的町家群保存活用推進地区」に認定され、うち2軒は「ふくい文化財」として登録された。

19

町政を問う!

質問、返答については質問者の文責で掲載しています。



問 住民環境課長

問 住民環境課長

① 福鉄バス菅浜線廃止に伴う代替交通の運行について

令和7年4月1日から、菅浜線代替交通の車両運行を開始しているが、現在までの利用状況はどのようにになっているのか。

令和7年10月末時点
で、菅浜線代替交通の利
用者数は1,009名で、
月平均144名となり、多い月
では、200名の利用がある。
利用者数に対しても、行政はどのように評価

問 住民環境課長

令和7年4月1日から、菅浜線代替交通の車両運行を開始しているが、現在までの利用状況はどのようにになっているのか。

福鉄バス若狭線への乗り換えは100%

福鉄バス若狭線への乗り換えは100%

こうじょう ゆうま 幸丈 佑馬 議員

福鉄バス若狭線への乗り換えは100%

20歳のつどい

希望を持って
新たな旅立おめでとハジケルます
ぬれん

1月11日、今年の「20歳のつどい」が行われました。今年町内で迎えられた方は67名でした。艶やかな振袖姿と凛々しいスタイルは式典に華やかさを添え、久しぶりに再会する級友の表情は笑顔満面でした。

これからも、お世話になつた方々の感謝を忘れず、夢と希望を持って将来の美浜町づくりに大きく寄りたいと下さり！ ハートを送ります。



お知らせ

インターネット
配信開始！

今年2月から、美浜町のホームページより美浜町議会（令和7年度12月本会議）のインターネット配信動画を見ることができます。



第一歩を踏み出した中学生議会の開催に期待します。

（辻井 記）

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】辻井 雅之
【副委員長】幸丈 佑馬

【委員】藤本悟・松下照幸
高橋修・上道正一
兼田和雄

編集後記



近年デジタル化が進み、携帯電話（スマホ）1台あれば、何でもいなせる時代となりました。

議会でも令和2年からDX（デジタル技術を活用した改革）を取り入れ、議員のタブレット導入、本会議場・全員協議会室の音声文字翻訳等、デジタル化は大きく進歩しました。議会のインターネット配信も始まります。議会の見えぬ化の促進を図るべく「議会と語り合」の開催、「議会だより」の発行はもとより、第一歩を踏み出した中学生議会の開催に期待します。

（辻井 記）